

校長室からこんにちは 令和5年7月10日（月）



畑の井上さん

3年生の社会科では、調布市の勉強をします。そのなかで、近くにある畑と自分たちの生活について、考える単元があります。

そこで、消防大学校の近くにある畑の、井上さんにご来校いただき、いろいろ教えていただきました。井上さんは、ハロウィンの時に、大きなカボチャを学校に届けてくださっている方です。

かつては、市外の大規模農家の作物が市場に並んでいたが、調布の農家で直売所をつくり、その質の高さから評価されるようになったお話や、季節に合わせて、多種多様な作物を育てているお話などを伺いました。

また、枝豆などは、収穫時期が短く、種まきをずらすことで長く収穫できるようにしていることなどの工夫も伺いました。自然に左右されるので、天気はとても気になるそうです。

少しでも、野菜のことに興味をもてて、好き嫌いが緩和されるきっかけになるといいなと思います。



調査研究への協力をお願い

笑顔で食べてほしい…いつもそう願っています。ニンジンや豆の着ぐるみ

を着て教室に行くと、子供たちが一斉に、食べたお皿を掲げて見せてくれたり、少しでも食べているところを見せようとしたりしてくれます。少しでも野菜などの苦手解消につながるなら、ピエロになってもよいと考えています。本校では、自分で食べられる量をよそって食べるようにしており、決して苦手解消のために、無理をさせることはしていません。着ぐるみで教室を回るのも、楽しく笑顔で、ちょっとでも食べてみようと思ってもらいたいからです。そして、「苦手な食べものがあるって、それが食べられないとしても、それはいけないことではない。」とも思っています。

もちろん、苦手な食べ物があることは楽しいことではないし、食事のたびに、楽しくないなと思うのであれば、苦手は解消した方がよいとは思いますが、その解消方法は笑顔であるべきと考えています。



20年たって子供たちが親になったとき、着ぐるみの校長を思い出して、自分の子どもに笑顔で苦手解消を図ってくれたらなあと思っています。（大根の着ぐるみを着ていくときは勇気がいらいます。

あっ！カブだ！って言われたから…）

本日、「研究への協力をお願い」というプリントを配りました。ご協力いただける方は、よろしくお願いいたします。